

松田美緒、ヤヒロトモヒロ、ウーゴ・ファトルーソ 南米公演 TRANS-CRIOLLA ~響き合う地平の向こうへ~



2010~2011年はアルゼンチン、ウルグアイ、チリを含め、多くの南米の国々が建国200周年を迎えます。

苦痛を伴う歴史背景の中で、さまざまな要素が混ざり合って南米の音楽は生まれてきました。

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）は、ラテンアメリカの音楽をこよなく愛す注目の若手歌手：松田美緒、実力派パーカッショニスト：ヤヒロトモヒロ、ウルグアイの巨匠ピアニスト：ウーゴ・ファトルーソのトリオと各地の共演アーティストにより、日本と南米の音楽が一体となる南米3カ国（アルゼンチン、ウルグアイ、チリ）公演を実施します。

アルゼンチン：2010年8月6日（金）ブエノスアイレス
8月8日（日）コルドバ

ヨーロッパ、中近東、日本からも多くの移民が移り住んだ国、アルゼンチン。同時に、貧しさや政治的な理由で、この地を去り行く移民たちもいます。彼らを見送り、いつか戻ってこいと力強く語りかける名曲『Las Golondrinas（つばめ）』の作者：エドゥアルド・ファルー、情感豊かにケーナやフルートを奏でる：マルセロ・チオディをブエノスアイレス公演に、天才的ギタリスト：オラシオ・ブルゴスをコルドバ公演のゲストに迎え、アルゼンチンと日本の音とリズムが羽ばたきます。

ウルグアイ：2010年8月10日（火）サン・ホセ
8月11日（水）モンテビデオ

ウルグアイ独特の音楽、カンドンベ。奴隷として連れてこられたアフリカ系住民が創り出し、禁じられながらも演奏され続けられ、今ではウルグアイを代表する音楽になっています。カンドンベのユニット：レイ・タンボールによるエクサイティングで重層なリズムと、カンドンベ『Templando Momentos（時を暖めて）』の作者：ニコラス・イバルブルの味わい深いギターと声が、3人の音楽にさらなるエネルギーを加えます。

チリ：2010年8月13日（金）バルパライソ
8月14日（土）サンティアゴ

軍事クーデタ、ファシズム、弾圧、迫害...そんな時代背景の中に生まれたのが「ヌエヴァ・カンシオン（新しい歌）」運動です。人々の間で歌い継がれるフォルクローレを、生きた現在の表現として歌い創作する、この力強い音楽の代表的歌手：ヴィクトル・ハラらの歌と思想に幼少期から触れてきた松田美緒が、ヌエヴァ・カンシオンの流れを汲むチリの国民的人気歌手：フランチェスカ・アンカロラとともに、力強く伸びやかな歌声を届けます。

【お問い合わせ】国際交流基金 文化事業部 舞台芸術チーム（担当）前田 佳子

TEL: (03) 5369 - 6063 FAX: (03) 5369 - 6038 E-mail: Yoshiko_Maeda@jpf.go.jp

松田美緒、ヤヒロトモヒロ、ウーゴ・ファトルーソ 南米公演 TRANS-CRIOLLA ~ 響き合う地平の向こうへ ~

プロフィール

松田 美緒 公式ホームページ: <http://www.miomatsuda.com/>

1979年秋田生まれ。ポルトガルの民族歌謡、ファドに自己表現の形を見出し、2003年、リスボンに留学。ファドをはじめポルトガル語圏の様々な音楽文化を習得し、カーボ・ヴェルデに歌手として滞在する。大西洋の音楽世界をテーマに、ブラジルのショーロの音楽家と作った「アトランティカ」(2005)でビクターよりCDデビュー。以後、「ピタンガ！」(2006)、「アザス」(2007)をブラジルで録音。アルゼンチン、ベネズエラなど現在はスペイン語圏にも本格的にその世界を広げ、現地のミュージシャンとセッションを重ねる。

2010年にはウルグアイの巨匠ウーゴ・ファトルーソ (Pf)、ヤヒロトモヒロ (Per) と共に作り上げた「クレオールの花」を発表。在日地球人として、国境を軽々と越え続けるそのスケール感は圧倒的。確かな歌の力で世界をつなく、その歌声には、彼女の旅する様々な地域の魂が宿っている。

ヤヒロトモヒロ 公式ホームページ: <http://www.tomohiro-yahiro.com/>

少年時代の10年間をカナリア諸島、グラン・カナリアのラスパルマスで育ち、そこでドラムパ・カッションを始めた打楽器奏者。帰国後1980年プロ・デビュー。

以来、山下洋輔、向井滋春、渡辺香津美、板橋文夫、梅津和時ら、多くのジャズ界を代表するミュージシャンとの共演の他、アフロファンクバンド「じゃがたら」や「エスケン&ホットボンボンズ」のレギュラ・サポートを務める。また、久石譲、武満徹、小野リサ、吉田美奈子、大貫妙子、さだまさし、加藤登紀子、cobaなどのコンサートやツアーに参加、ジャンルの枠を超えた幅広いフィールドで活躍。

現在のレギュラー活動は、GAIA CUATRO、DOS ORIENTALES (Duo: ウーゴ・ファトルーソ pf)、グラストン・ガリツァ Duo、タイロン橋本 Duo、中村善郎 Duo、等、多々あり。

ウーゴ・ファトルーソ (Hugo Fattoruso) 公式ホームページ: <http://www.myspace.com/hugofattoruso>

1943年ウルグアイ、モンテビデオ生まれ、5歳の時からアコーディオンを始め、9歳からピアノを学ぶ。1956年から父、弟と共にトリオで演奏、トラディショナル・ジャズのベーシストとして活躍した後、1964年、ビートルズの影響を受けたロス・シェイカーズを結成、アルゼンチン・オデオンから多数のレコードを発売、特に南米地域で大きな人気を獲得する。

1970年、弟と一緒に渡米し、リンゴ・シールマンと共にフュージョン・バンド OPA を結成、アイルト・モレイラらとの共演や、2枚の単独アルバムも残した。1982年ブラジルへ移住、ミルトン・ナシメント、ジェラルド・アゼヴェード、ジョイス、トニーニョ・オルタ、ジャヴァンらと共演した。さらにその後再度のアメリカ移住を経て、2000年に新生トリオ・ファトルーソを結成、現在に至る。

他にも13人編成の「ロス・ブシラミネス」、ウルグアイの黒人音楽カンドンベの演奏グループである「グルーポ・デル・クアレーム」、ウーゴと3人の太鼓隊からなる「レイ・タンボール」などのプロジェクトでも活動、ハイメ・ロスのツアーにも随時参加している。2007年より現在に至るまで毎年、パーカッショニスト・ヤヒロトモヒロとのドウオ日本ツアーを展開、2008年7月にはアルバム「DOS ORIENTALES (二人の東方人)」(オーマगतキ)を発売した。

松田美緒 with ヤヒロトモヒロ & ウーゴ・ファトルーソ CD『クレオールの花』試聴

<http://www.hmv.co.jp/product/detail/3713466>

【お問い合わせ】国際交流基金 文化事業部 舞台芸術チーム (担当)前田 佳子

TEL: (03) 5369 - 6063 FAX: (03) 5369 - 6038 E-mail: Yoshiko.Maeda@jpf.go.jp